

平成28年2月4日

徳島大学病院ホスピタルギャラリーbe 展示のご案内

徳島大学病院[病院長：安井 夏生（やすい なつお）]では、ホスピタルギャラリーbeにおいて、「庄・蔵本/新蔵遺跡に見る 土の造形」展を開催しています。

（報道概要）

1. タイトル：庄・蔵本/新蔵遺跡に見る 土の造形
  2. 期 間：平成28年2月1日(月)～平成28年5月28日(土)
  3. 場 所：ホスピタルギャラリー「be(び・い)」  
(徳島大学病院西病棟1階ロビー)
  4. 主 催：徳島大学病院
  5. 協 力：武蔵野美術大学、徳島大学埋蔵文化財調査室
- ※添付資料（ポスター）をご参照ください

徳島大学は、新蔵・常三島・蔵本の3つのキャンパスすべてが遺跡の上に位置しています。1982年以降、校舎の新設などにもなって、51件にもおよぶ発掘調査を行ってきました。これまでの調査によって、本部が所在する新蔵キャンパス、常三島キャンパスでは近世徳島藩の武家屋敷跡が、蔵本キャンパスでは弥生時代の初期農耕集落跡をはじめ、縄文時代の終わり頃から近世にかけての遺跡が見つかっています。

今回は、「土の造形」をキーワードに、幅広い時代にわたる土でつくられたモノを選びました。弥生人がお墓に供えた壺、煮炊きに使った甕、江戸時代の武士が正月行事に使った茶碗、子供の遊び道具であった人形、面子など…。こうしたモノは、当時の人々の生活を、現代の私たちに豊かに語りかけてくれます。

このことにつきまして、報道下さいますようお願いいたします。

お問い合わせ先

部局名 徳島大学病院

責任者 病院長 安井 夏生

担当者 病院総務課広報・企画係（有賀）

電話番号 088-633-7463

メールアドレス bsoumuss1@tokushima-u.ac.jp



# 土の造形

庄・蔵本／新蔵遺跡に見る

徳島大学は、新蔵・常三島・蔵本の3つのキャンパスすべてが遺跡の上に位置しています。1982年以降、校舎の新設などにもなって、51件におよぶ発掘調査を行ってきました。これまでの調査によって、本部が所在する新蔵キャンパス、常三島キャンパスでは近世徳島藩の武家屋敷跡が、蔵本キャンパスでは弥生時代の初期農耕集落跡をはじめ、縄文時代の終わり頃から近世にかけての遺跡が見つっています。今回は、「土の造形」をキーワードに、幅広い時代にわたる土でつくられたモノを選びました。弥生人がお墓に供えた壺、煮炊きに使った甕、江戸時代の武士が正月行事に使った茶碗、子供の遊び道具であった人形、面子など……。こうしたモノは、当時の人々の生活を、現代の私たちに豊かに語りかけてくれます。

主催：徳島大学病院 協力：武蔵野美術大学基礎デザイン学科 監修：武蔵野美術大学 基礎デザイン学科教授・板東孝明 第21回を迎える今回は、武蔵野美術大学の監修により、作品展を企画させていただきました。

2016  
2/1 [月] —  
5/28 [土]

Hospital  
Gallery

be

ホスピタル ギャラリー [ビー]  
徳島大学病院 西病棟 1階ロビー

